

第19回 特別企画展 「食べる」メカニズムを探る

第19回特別企画展
『食べる』メカニズムを探る

展示内容

1. カラーパネル

以下のような7枚のカラーパネルで、食物を見てから飲み込むまでの様子を順を追って説明しています。

(1)食物の認識

(2)口腔へのとり込み

- (3)咀嚼と食塊の形成—食塊にするために—
- (4)咀嚼と食塊の形成—唾液の大切な役割—
- (5)嚥下(口腔から咽頭へ)
- (6)嚥下(咽頭から食道へ)
- (7)嚥下(食道から胃へ)、エピソード

2. 電飾パネル(押しボタン対応)

“『食べる』と唾液分泌のメカニズム”

食物を見たり(視覚)、臭いを嗅いだり(嗅覚)、音を聞いたり(聴覚)、口腔粘膜に触れたり(触覚)、舌で味わったり(味覚)したときに、それぞれの唾液の分泌に至るまでの求心性神経、交感、副交感神経の伝達経路を発光ダイオードでわかりやすく展示しています。

3. DVDによるプレゼンテーション

以下の4タイトルで、アニメーションや実写映像を活用して、歯口のはたらきや咀嚼、嚥下についてわかりやすく説明しています。

- (1)“噛む”
- (2)歯口のはたらき
- (3)咀嚼と嚥下の実際
- (4)はちまるくんの『食べる』メカニズムを探る

